

[東京工業大学 1989 年 1]



xy 平面上の点 P から放物線 $y = x^2$ へ 2 本の異なる接線を引き、それらの接点を Q, R とする。

- (1) 点 P が次の 3 つの不等式 $y \leq x-1, y \leq -x+1, -1 \leq y$ を同時に満たす範囲を動くとき、線分 QR の中点が動く範囲を図示せよ。
- (2) 三角形 PQR の面積が 2 に等しくなる点 P はどんな曲線上にあるか。その方程式を求めよ。



- (1) $P(X, Y)$ とおく。

$y = x^2$ のとき $y' = 2x$ であり、 $y = x^2$ 上の点 (t, t^2) における接線の方程式は

$$y - t^2 = 2t(x - t)$$

これが P を通るとき、 $Y - t^2 = 2t(X - t)$ より $t^2 - 2Xt + Y = 0 \dots \textcircled{1}$

$\textcircled{1}$ の 2 解を α, β とおく。 α, β は Q, R の x 座標に他ならない。

解と係数の関係より
$$\begin{cases} \alpha + \beta = 2X \\ \alpha\beta = Y \end{cases}$$

QR の中点を $M(s, t)$ とすれば、

$$s = \frac{\alpha + \beta}{2} = \frac{2X}{2} = X$$

$$t = \frac{\alpha^2 + \beta^2}{2} = \frac{(\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta}{2} = \frac{4X^2 - 2Y}{2} = 2X^2 - Y$$

よって
$$\begin{cases} X = s \\ Y = -t + 2X^2 = -t + 2s^2 \end{cases} \dots \textcircled{2} \text{ である。}$$

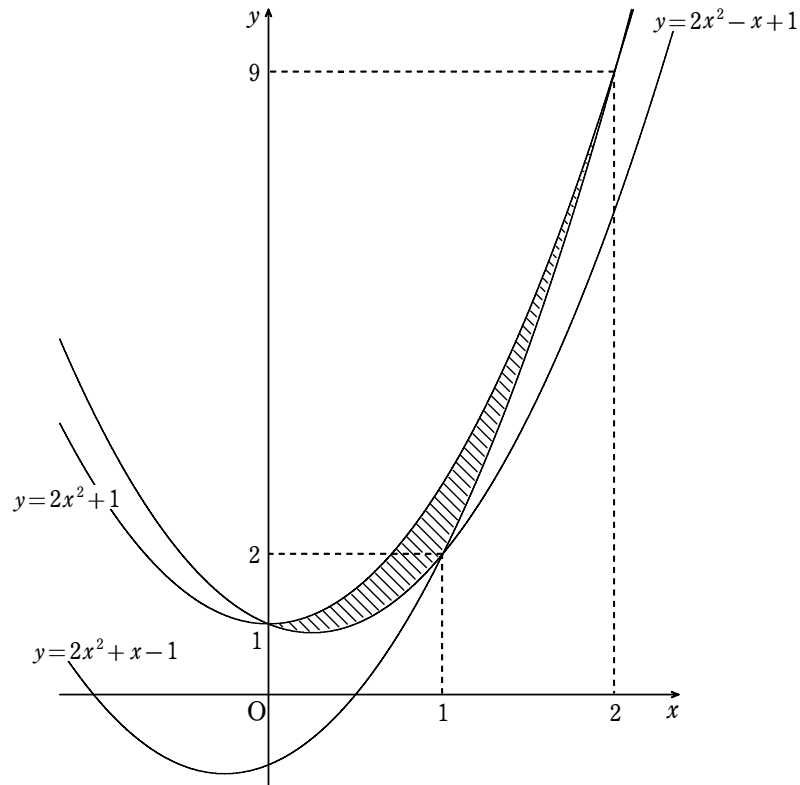
$P(X, Y)$ は不等式 $y \leq x-1, y \leq -x+1, -1 \leq y$ を満たすので

$$Y \leq X - 1, Y \leq -X + 1, -1 \leq Y$$

$\textcircled{2}$ より
$$\begin{cases} -t + 2s^2 \leq s - 1 \\ -t + 2s^2 \leq -s + 1 \\ -1 \leq -t + 2s^2 \end{cases} \Leftrightarrow \begin{cases} t \geq 2s^2 - s + 1 \\ t \geq 2s^2 + s - 1 \\ t \leq 2s^2 + 1 \end{cases} \text{ を得る。}$$

よって QR の中点 $M(s, t)$ が動く範囲は
$$\begin{cases} y \geq 2x^2 - x + 1 \\ y \geq 2x^2 + x - 1 \\ y \leq 2x^2 + 1 \end{cases}$$
 であり、図の斜線部となる。

ただし、境界線上の点はすべて含む。



(2) (1)の α, β について $\alpha > \beta$ としても一般性を失わない。

このとき、 $\overline{PQ} = (\alpha - X, \alpha^2 - Y)$, $\overline{PR} = (\beta - X, \beta^2 - Y)$ より

$$\begin{aligned}
 \Delta PQR &= \frac{1}{2} |(\alpha - X)(\beta^2 - Y) - (\alpha^2 - Y)(\beta - X)| \\
 &= \frac{1}{2} |\alpha\beta^2 - \alpha Y - X\beta^2 + XY - \alpha^2\beta + \alpha^2 X + \beta Y - XY| \\
 &= \frac{1}{2} |\alpha\beta^2 - \alpha Y - X\beta^2 - \alpha^2\beta + \alpha^2 X + \beta Y| \\
 &= \frac{1}{2} |X(\alpha + \beta)(\alpha - \beta) - \alpha\beta(\alpha - \beta) - Y(\alpha - \beta)| \\
 &= \frac{1}{2} |2X^2(\alpha - \beta) - Y(\alpha - \beta) - Y(\alpha - \beta)| \\
 &= \frac{1}{2} |(\alpha - \beta)(2X^2 - 2Y)| \\
 &= |(\alpha - \beta)(X^2 - Y)|
 \end{aligned}$$

となる。

ここで、 $\alpha - \beta = (\alpha + \beta)^2 - 4\alpha\beta = 4X^2 - 4Y$ であること、

そして、 P から接線が 2 本引けると、 P が曲線 $y = x^2$ の下側にあるので

$Y < X^2$ すなわち $X^2 - Y > 0$ が成り立つことから

$$\begin{aligned} |(\alpha - \beta)(X^2 - Y)| &= \sqrt{4X^2 - 4Y}(X^2 - Y) \\ &= 2(X^2 - Y)^{\frac{3}{2}} \\ 2(X^2 - Y)^{\frac{3}{2}} &= 2 \\ (X^2 - Y)^3 &= 1 \quad \dots \textcircled{3} \end{aligned}$$

となる。

X, Y は実数であり、 $X^2 - Y$ も実数なので③は $X^2 - Y = 1 \Leftrightarrow Y = X^2 - 1$ と同値である。

したがって求める曲線の方程式は $y = x^2 - 1$